磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話(平)一二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

第三回平競輪 愈々本調子 ―成功の鍵にぎる!!

―サヨナラレースに大穴續出―

四日間連續の第三回平競輪は、うらゝかな春光の下、絶叫と興奮の坩堝の中に滿場を埋めたファンに見守れて十七日つゝがなく終了、最終日入場者總數は二千八百七十名で初日より落ちたが賣上は五百萬を突破し五百七萬三千四百圓、平競輪成功の聲はこゝに裏付けられた、四日間通計入場者總數一萬二千三百名、賣上合計壹千七百八十一萬七千九百圓の巨額を收む、穴は最終日のサヨナラレースに單は一萬二千七百五十圓連は一萬七百六十圓という大穴が續出、サヨナラレースを見送った觀衆の中から「仕舞った」「殘念」の聲さえ出る仕末、こゝに春四月の平競輪は萬感無量の想をそよ風に託して閉幕した

鈴木 馬目 兩候補の政見發表 愈々高潮必勝を期す

必勝を期して連日健闘を續けている平市長候補鈴木派の遊説隊並に縣議候補馬目氏の十七日に於ける合同政見發表演説會は午後七時より市大町塙建材店、月見町根本一馬氏宅、鎌田町丸山氏宅に於て行はれた、鈴木辰三郎候補危しとの報に田村郡より安藤武氏(縣敎育委員會委員長)石城郡部より自由黨公認候補として縣議戰に出馬し健闘中の蓮沼龍輔縣議會議長も應援に馳せつけ鈴木市長候補代理阿部前助役、小松茂、木村淳兩市議、强口唯七郎氏、山野邊本社編集長其の他の有志熱辯を振い反對派のデマ宣傳を粉碎し多大の効果を納めた、尚十八、十九日も引續き次の會場で行はれる

△十八日午後七時より
第一會場―仲間町坂本忠治氏宅
第二會場―柳町有賀氏宅
第三會場―大工町丸公市場

△十九日午後七時より
第一會場―五丁目馬目縣議候補選擧事務所
第二會場―七丁目熱心湯
第三會場―古鍛治町松堂院

東北一の就職率を示す 職安九九、八%の好成績

就職難の聲巷に滿ち滿ちている今日、平職安所管内の昭和二十五年度中の就職狀況は求人五十二萬六千八百二十一名に對して五十二萬三千四百三十九名其内男三十二萬八千二百七十六名女子は十九萬五千百六十三名で就職率から云えば九、九八%で東北一の好成績を收めた、また同年中における同所の失業保險金受給者は二千三百七十八名で三十才から二十九才までが九百六十名三十八%に達して最高で失業者に支拂った保險金は一億二千七百四十二萬六十三圓の高額に達した

杉山、三町歩陥没す 小島こしき平地内で

十三日夜内郷町小島こしき平地内の私有杉山(高さ約十五間)が三町歩四方にわたつて陥沒、三尺乃至四尺の龜裂を生じ附近の水田三畝程が被害を受けた、損害約五十萬圓、原因は不明で炭礦地帶の堀進は未だその方面には延びて居らず町役場當局では十六日調査の結果專門家を招いてその原因を調査する事となつた附近は龜裂面甚しく危險で近よれない狀況である

おいしい!お酒十二點 淸世界、鶴仙等一級酒

二十六年度第二回淸酒一級酒認定は去る十日仙台國稅局で開催され平稅務署管内出品点數二十九点中十二點が一級酒と認定された其の一級酒は次の通りである

△小名濱町淸水屋酒造場(淸世界)△平市松吉屋酒造場(鶴仙)△高久村天吹酒造場(淸盛)△三坂村大竹酒造場(竹仙)△平市松本酒造場(白馬雪)△高久村本馬酒造場(福鶴)△永戸村會田酒造場(正駒)△磐崎村大平酒造場(盛鯛)△植田町古川酒造場(稻萬歳)△内郷町四家酒造場(福美)△小名濱町長瀬酒造場(磐城櫻)江名町近藤酒造場(伊勢盛)

火鉢でなぐる 宴會中の暴行

三坂村差鹽君石二農業松崎嘉平(六〇)さんは十七日午後四時半頃同家において宴會開催中同字薪炭業大阪岩太郎(四二)が酒に醉い些細なことから松崎さんに口論をふつかけ長さ一尺巾一寸位の火鉢で松崎さんの頭部を毆打全治三週間の裂傷を負はした大阪は直に平地區署え連行された

驛前食堂で盜る 四倉の鈴木さん

四ツ倉町中町百二十一番地鈴木君穗(三六)さんは十六日午後八時三十分頃平驛前某食堂で飲食中婦人上衣其の他四點時價五千圓相當を盜まれた

内郷町でヂフテリヤ

内郷町大字高坂三本杉二十九番地安孫子純二(二)さんは十三日發病し十六日ヂフテリヤと決定

旅客サービス向上運動

國鐵平營業所では四月一日から五月三十一日まで旅客サービス向上運動期間として次の項目について本格的に實施している、輸送の增强、客車の給水の勵行、驛構内外の給水の增强、驛所の整掃、事故防止對策等であるがこの期間中の協力者に對しては國鐵水戸管理局長から表彰される

第五春清丸座礁 船長以下は救助

十四日午後十時頃中ノ作港外で江名町中ノ作漁業吉田弘藏さん所有第五春清丸、(卅三トン)は機關部に故障をおこし大浪のために座礁轉覆したが船長佐野末吉氏外十三名は救助された

學校施設調査 敎委の主唱で

敎育委員會石城出張所では二十五、二十六の兩日、各學校の代表者を地方事務所に招き學校施設に關する調査事務打合會を開く、この調査は現在各學校が保有する建物及施設並に將來予定されている建築物で今後における國庫補助割當の基準になるべき重要な調査で各方面より注目されている

石城校長會開く 二十六年度計畫審議

石城郡校長會は來る二十七日午前九時半より地方事務所において開催されるが協議事項の重なる案件は本年度における學校經營の努力目標其の他修學旅行などでそれに付學校の實情を加味した上で愼重に審議される

電線ドロ頻頻

十五日夜東北配電平變電所の平―谷川瀨を通する専用電話線二百メートルと内郷町御厩の電話線約四百メートルが盜まれ、また同日平營林署の石城郡川前村事業所へ通ずる電話線これまた一千メートルが同戸渡地内で盜まれ同日發見した

吉田總理のワンマン振りに對し鈴木前市長の押しと力の發揮振りも大したものであつた、事實仕事の出來る人に對する非難はつきものでこれが眞理の追究とかなんとか言葉尻をとらえ議論倒れするよりはいささか清濁合せ呑んで實行に移すことは已むを得ないものである、諸橋候補の白足袋もこれまた純然たるワンマン御前の姿である、斯く思う時我々市民は腹藝とハッタリの勝負と斷ずるほかわない

×

立候補者は辛いものです、市民大衆の公僕たらんとしているのに人の氣も知らない影の聲を拾つて見た……

△四丁目のツルヤさん鈴木派事務長辭退の言葉が前にいわき民報紙上にコト細やかに出てゐたが、實は親翁の昌平さんから「釜屋さんに楯突くやうなことは絶体して呉れるな」との泣き落し術にかゝつたとのこと、相手が釜屋では平で商賣しているお方は無理もないこと、それだからこそ無理矢理押し立てられたもの―然しこんなことで五萬の平市民がゴマカサレぶざまはしたくない

△村雀の言葉を借りて言へば釜屋の大將は平の天皇のやうな方我々は一寸近づき難い雲の上のやうな人と思つてゐたのに今さら名譽慾にかられて市長に立候補するなんては天皇が大統領に立候補せねばならぬとは世の中も變つたものとの評判モッパラ

十八日晩はよい天氣ですが時に薄雲が廣がりましょう十九日は朝のうち北西の風晴ですが日中は南寄の風うす曇となりましょう二十日は晴時々曇の天氣でしょう海上は穩かです

全店滿開
さくらまつり
20日迄
越 藤越
平市 銀座 電265・1280・1281・1282

内科 小兒科 和田醫院
和田浩美
平市白銀町一〇 電話一一八七番

本場=自慢
牛豚肉
配達迅速
第一線屋 第二線屋
第一 電話五三九番
第二 電話七九四番

整形外科
胃腸科
放射線科
内科(特設)
入院室完備
竹林病院
平市十五丁目(元平病院)電話八一六・六〇八番

春だ!! 花の下で!
カメラとフヰルムの店
飯田カメラ店へ
紺屋町 聚樂館前

昭和25年7月6日
(二)　第三種郵便物認可　昭和26年(1951)　磐城毎日新聞　4月19日　(木曜日)　第272號

鈴木前市長を大政治家と賞讃

關内代議士、立會演説會で

立會演説會點描

平市地方選擧立會演説會は全く市長派並びに反市長派の對立を解明にし兩派舌戰の大繪卷を展開した過去四ケ年にわたり市政に參劃せる所謂市長派の立候補者に對する批判はやむを得ぬものあり、これに對し反市長派の立候補者は市政の弱點を衝くといふ有利な立場が本大會の空氣に反映した、諸橋候補の應援に立つた關内氏は鈴木候補を大政治家として賞讃し今回の地方選擧に鈴木候補が病に倒れたことは誠に痛手でありこの際鈴木氏を出馬せしめたことはあまりにも慈悲であるそれとしても一つの事業を成功させるには毀譽ほうへんはつきものだ、野澤候補もう天下をとつたつもりか昨日まで精々惡口を叩いてゐた競輪の車券賣上增進を圖り市財政の建全を圖り度いとはあまにも虫の良い御言葉、ひげが生きてゐるこれこそ鈴木寅次郎候補の演説の姿どうして私が市會に出たが、それわ皆さんの御支援により衣食足りいさか暇が出來たから今度は皆さんに御禮の意味でも私慾を離れ働くことを神かけて誓うと三十九才の寅次郎さんひげに波打たせ聽集をギヨとさせた强口市議候補これも矢張り息子に事業をまかせ一肌市政に奉ずると熱辯ふるい、壇上から降りて聽き手と相成つたまでは良いが、相憎隣り合せたのが釜屋の番頭一杯機嫌で野次り飛ばすのに憤慨「全く明治の青年は元氣が良すぎてね」これは息子の兼七郎さんの談

ことは政治にボス化されることをよく正し市政に清新の氣をそゝぐものであるが茲に我々選擧民は働ける眞面目な議員を選び首長には指導力を持つ人物を選出なし新興都市大平市に血と肉をかよわせて戴かねばならぬのである

進學〝落選組〟朗報

市教育課で成人學校を開設

先程行われた高等學校の入學試驗に敗れ、進學の希望もあえなく踏みにじられた生徒達に對し、市議會においても取上げられた程であつたが市教育課ではこれら生徒達のために成人學校を制定再起の望を抱かせて努力せしむることゝなつた未だ確實な具體案はきまつて居らないが、要旨は平第二中に一學級定員約五十名收容し專任の教師校長級の人物を一名兼任教師七、八名をおいて中學三年程度の學力を授ける事となつた、落選組は市内で約二百五十名あり現在成人學校への入學を希望する者一中十五名、二中六十名三中九名であるなお近日中に明確な具體案が極まる予定である

四倉署次席　小林起訴さる

脅迫、收賄、職權濫用で

四倉署次席巡査部長小林巳之秋(四五)氏の汚職取調べについては既報の通りであるが、取調べに當つた福島地檢山本次席檢事は福島刑務所に身柄拘留中の同小林氏を十六日福島地裁に起訴した、起訴狀の示す所によれば同小林氏は一昨年二月頃市内三丁目大津賀善吉、同二丁目根本善吉、四倉町大須賀靜之介が熊本市立石登と疊表の取引契約を結び、立石が前渡金として二十三萬圓受取つたまゝ、その契約を履行しないので同年十一月頃に大須賀から立石へ渡した二十三萬圓の返還について取立てを依賴され、二十五年一月十六日職權を濫用熊本市大江町村上隆、同市春竹町野崎定雄の兩名を逮捕、不當拘留の上、兩名を脅かし、四倉署長名儀で前記二名の家族、親類に二十三萬圓を送金しないと釋放しないと電報を打つて二十六日村上の妻より十四萬、野崎の實弟から二萬圓を取り寄せ、根本、大津には五萬五萬五千圓づゝ、大須賀には四萬圓を返し、一月二十六日村上に殘金七萬圓の預り證を同小林部長の名儀で作成させて支拂を迫り、更に同二十五年二月頃大津等三名から謝禮として大須賀の手をへて一萬圓を收賄したものである

苗木組合總會

石城地方事務所林務課では來る二十一日午前十時より地方事務所において種苗木組合總會を開く

事務主任打合會

石城地方事務所では十九日地方事務所において各町村の稅務主任を集め打合會を開く

更生資金貸付變更、延期事務打合會

教育委員會石城出張所では十七日平第二小學校において各學校の事務職員を集め更生資金貸付に關する變更並に延期について事務打合會を行つた

平市長・市議候補得票一覽表

(届出順)

候補名	得票數	候補名	得票數
平市長立候補者		小野榮一 50	
鈴木辰三郎 73		山野邊正善 57	
諸橋久太郎 58		野澤武藏 46	
平市會立候補者		吉田常太郎 42	
荒川千代造 51		吉田喜代治 56	
鹽庄造 49		山崎賢耕 54	
町田龜治 47		內木宗八 50	
テツド新平 43		福田長一郎 48	
大內近雄 43		大嶺庫 53	
大塚駒太郎 57		須藤鶴之助 53	
石山一治 45		渡邊啓 46	
齋藤角治 63		鹽演瑛 49	
眞木桓 53		關場益一 63	
大嶺秀吉 65		多田井笑次郎 52	
コメヤ新平 45		村瀨一見 45	
國井一美 47		瀧川保夫 27	
大泉信雄 58		鈴木勇 47	
野崎喜八郎 57		小松茂 51	
熊谷保高 47		阿部長兵衞 50	
渡邊久 51		安瀨三郎 43	
鈴木寅次郎 73		鈴木政一 42	
坂本昌藏 33		江尻忠平 46	
柏原秀藏 57		鈴木定一 52	
水竹伊之助 50		金古政通 52	
永野孝夫 41		志賀傳吉 41	
佐藤伊太郎 64		渡邊賢司 54	
木村淳 49		相川利一 53	
佐藤友壽 53		會川良平 27	
諸橋正次 57		永山富貴 64	
鈴木秋光 55		武藤弘 25	
强口唯七郎 68		小野善秋 47	